

經濟論叢

第 131 卷 第 6 号

哀 辞

故大橋隆憲名誉教授遺影および略歴

QCサークル活動と社会・技術システム論

- による責任ある自律的作業集団……………赤 岡 功 1
- 賃金上昇, 間接税および石油ショックの
計量分析……………大 西 広 26
- 再生産と利潤率……………黒 木 龍 三 49
- 資本の国際化の方法的模索(下)……………奥 村 和 久 71

書 評

ナチ・レジームの社会史研究の一動向

—T. W. Mason, *Sozialpolitik im Dritten Reich. Arbeiterklasse und Volksgemeinschaft*, Opladen 1977 をめぐって—

- ……………後 藤 俊 明 95

追 憶 文

- 大橋隆憲先生と統計学学問論……………野 村 良 樹 110
- 大橋隆憲先生と社会階級構成論・
障害者統計論……………野 澤 正 徳 119

昭和 58 年 6 月

京 都 大 学 經 済 学 會

哀 辞

本学名誉教授 大橋隆憲先生は 去る1983年3月11日に逝去されました ここに謹んで哀悼の意を表します

先生は 1935年に東京帝国大学文学部を 40年に京都帝国大学経済学部を それぞれご卒業になり 40年経済学部助手に就かれたのち 41年 太平洋戦争の前夜 ご退職を余儀なくされました 戦後 1946年東京工業大学講師 49年本学経済学部助教授を経て 65年教授となられ 75年退官されるまで 統計学の研究と教育および後進の養成に尽力されました その間66年1月から1か年間 経済学部長の重責を担われ 大学行政の面でも多くの貢献をなさいました ご退官ののちは 日本福祉大学教授 花園大学教授として 社会福祉論の研究と教育に全力を捧げられました

先生は 永年のご研究のなかで 社会統計学 統計学史 社会階級構成論 社会福祉論などの分野にわたる 大きな業績をのこされました これらの研究は 「現代統計思想論」「統計学総論」「日本の統計学」「日本の階級構成」をはじめとするあまたの著作に発表され 学界の進展に画期的な影響を及ぼしました

先生は 経済学部にご在職のおり 多くの子弟を教育され また本誌にも貴重な論文をお寄せいただき 本学会のため ひとかたならぬお力添えを賜りました ここに 先生のご冥福を心からお祈り申し上げます

1983年4月1日

京都大学経済学会